

1. 困った人 病んでいる人に 真心こもる奉仕
2. 地域住民 地域医療機関に密着した医療
3. 何人も平等に医療を受けられる病院



終末期医療と アドバンス・ケア・プランニング

内科部長 大島 伸一

超高齢社会を迎え、患者さんの人生の締めくくりに、家族や医療・ケア関係者等がどのように寄り添うかが、これまで以上に大きな課題となっています。

生命の危機に瀕したとき、70%の人が医療やケアを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。そのような状況に備えて、意思決定支援の取り組みがなされてきました。

たとえば「事前指示」(アドバンス・ディレクティブ、AD)があります。自身が意思決定できなくなったときに備えて、事前に希望する医療行為の内容や、代理人の指名を書面に残しておくものです。しかし実際には無数に存在する終末期のパターンをすべて想定して指示することは不可能であるなどの問題があり、結果的にADは意思決定支援の有効な手段とはなりません。

そこで始まったのがアドバンス・ケア・プランニング(ACP)です。アドバンスには「前もって」「前進する」などの意味があります。アドバンス・ケア・プランニング(ACP)は簡単に言うと、もしもの時の「話し合い」です。具体的には下記のように定義されています。

患者さん本人と家族、医療者、介護者などと一緒に、意思決定能力が低下する場合に備えて、「あらかじめ」、終末期を含めた今後の医療や介護について話し合う過程のこと。

すなわち、自分がどんな治療を受けたいか、受けたくないか、どんなことを大事にしたいのか、「前もって」話し合っておく、その一部始終が含まれています。ただの事前指示を決めるのではなく、自分の価値観を共有するプロセスであり、「前向きに」これからの生き方を考える取り組みです。愛称は「人生会議」と呼ばれています。

患者さんが望む医療及びケアについて、その意思を確認できなくなるときが、いつ訪れるのかを予測することは困難です。ACPの話し合いが遅くては間に合いませんし、早すぎても現実味がありません。そこで、健康な人に対するACPは、ACPを知ってもらうことが目的となります。病気の人に対するACPは予後1年をひとつの目安として実地することも提案されています。

ACPで大事なことは患者さんの意思が一番優先されるということです。ACPは人生の最終段階に必須のものとなりつつあり、当院でもACPに取り組んでおります。



三年目を迎えて

理学療法士 石神 洋平

突然ですが、「三年」を含むことわざを思い浮かべて下さい。どんなことわざを想像しましたか？「石の上にも三年」、「桃栗三年柿八年」あたりは耳にすることも多いので、想像に難くないと思います。他にも思いついたことわざはありますか？「ことわざ辞典ONLINE」で調べてみると、「三年飛ばず泣かず」「商い三年」「禍も三年たてば用に立つ」「三年たてば三つになる」「棹は三年、櫓は三月」「松の木柱も三年」などなど、「三年」を含むことわざの数は豊富に存在するようです。日本人にとって「三年」は一つの節目、または転換期と捉えられているのかもしれませんが。

今年で入職してから三年目を迎えました。業務への慣れやリハビリテーションの質は、入職当時と比べゆっくりですが成長できたと思います。そして三年目の今年は、理学療法士として大きな成長を遂げるような節目の年となるよう、患者様へ理学療法士としての専門性を還元できるよう精進していきます。

1病棟のレクリエーション

月1回患者様のご家族様が紙芝居やカラオケのレクリエーションを行って来ています。医療病棟では体を動かす事が難しい患者さんが多くいらっしゃいます。そのため紙芝居やカラオケなど視覚・聴覚で楽しめるレクリエーションは参加率も高く、人気です。歌を歌うことで肺を使うので心肺機能の維持につながり、リズムを感じながら体を動かせば、身体機能の維持にもつながります。また、懐かしの音楽や昔話にふれる事で若い頃を思い出し、脳の活性化や認知症予防にも効果があるという報告もあるほど。今後も積極的にレクリエーションを行っていきたいと思います。



新人職員紹介

よろしく
お願いします!

2病棟 看護師
伊藤 貴久美

栄養科 管理栄養士
田村 はる美

昨年6月から2病棟に勤務しております。

以前は手術室に勤務していました。久しぶりの病棟勤務で、入職当初は困惑する事もありましたが、先輩方のご指導と患者さんのご協力のおかげで、日々の業務がこなせるようになりました。

これからも慢性期ならではの看護を一つ一つ掘り下げて、研鑽に励む所存です。

趣味は旅行とアイシングクッキー作りです。

趣味が高じて講師資格を取得しているので、レクリエーション等で活かしていけたらと思います。宜しくお願い致します！

昨年9月から栄養科に入職しました、田村はる美です。大学卒業後、自動車部品メーカーに就職し、学び直しの期間を経て管理栄養士になりました。経験はまだ浅いですが、皆さんにご指導いただきながら成長していきたいと思っております。よろしくお祈りします。

私生活の方では、三姉妹のお世話に奮闘する毎日を送っています。独身の頃は、登山、書道、バイクなど、興味を持ったらやってみる行動派でしたが、最近は落ち着いて暮らしています。

職員募集

●正・准看護師 ●介護職 ●言語聴覚士

詳しいお問い合わせは ☎0538-49-2211 担当：事務長

求人の詳細はこちらへ



ブログも更新中



<https://www.mitsukawa-fukuroi.jp/>